

厚生労働行政推進調査事業費補助金(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)  
分担研究報告書

感染症危機感に関する情報収集

研究分担者 氏家無限 国立国際医療研究センター国際感染症センター

研究要旨 本課題では、国際感染症等対応の人材育成および派遣に係る機関のネットワーク強化を目的とし、国際協力機構（JICA）との意見交換会を行った。国際感染症等対策に関して、今後の国内外のネットワーク構築強化が見込める結果となった。

A. 研究目的

本研究の目的は「国際的に脅威となる感染症対策強化に関する基本計画」に基づき、国際感染症等対応人材の育成や派遣を推進するため、感染症対策のための人材育成及び COVID-19 への対応を含む、国内外の感染症危機時に専門家の派遣が可能となる国内体制を構築することである。

B. 研究方法

1. 日本における感染症危機管理に関連する機関のネットワーク強化

国際感染症に対応できる人材育成および人材派遣や国内外機関と今後のネットワーク強化を目的とし、国際協力機構（JICA）と意見交換を行った。

C. 研究結果

1. JICA との意見交換会の実施

JICA 内部の新型コロナウイルス感染症対策、国際感染症及び国際緊急援助隊(JDR) 関係者と意見交換を行った。

その中で、国際感染症に対応できる人材育成や派遣に関する情報共有、JICA の事業で日本に留学している海外人材と研修等を通じたネットワーク構築等を行っていくこととなった。

JICA との意見交換会

意見交換会日時：令和 4 年 3 月 10 日

開催方式：オンライン

参加者数：約 30 名

JICA 側参加者一例（敬称略）：

- ・ 人間開発部 新型コロナウイルス感染症対策協力推進室 審議役 瀧澤郁雄
- ・ 人間開発部 保健第一グループ 次長 伊藤賢一
- ・ 人間開発部 保健第二グループ 次長 吉田友哉
- ・ 国際緊急援助隊事務局 次長 糟谷良久

※今後も意見交換会を開催し、連携を図っていく予定

D. 考察

2021 年度の本研究分担では、国内外の感染症危機時に専門家の派遣促進のための人材育成・国内体制の構築を行うための関係機関のネットワーク強化を目的とし、JICA 意見交換会を行った。意見交換会では国際感染症に対応できる人材に関する現状や問題点を共有、そのうえで人材プールの確保や外国人留学生との交流の可能性等、今後のネットワーク構築に向けた前向きな意見交換会となり、来年度以降連携強化が示唆された。

E. 結論

本研究では国内外の感染症危機時に専門家の派遣促進のための人材育成、国内体制の構築を行うための国内関係機関ネットワーク強化を行った。今後、他の国内関係機関とのネットワーク強化に向けた布石となりうる意見交換会が実現できた。

F. 健康危険情報

総括報告書にまとめて記載

G. 研究発表

1. 論文発表  
なし
2. 学会発表  
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし